

報道各位



FAX送信枚数 枚(この用紙を含む)

2020年第52回全国高等学校選抜ホッケー大会の公式試合記録および各試合戦評をお知らせいたします。

 どうぞよろしくお願いいたします。

第52回実行委員会事務局 川崎重工ホッケースタジアム内	本件に関するお問合せ先 第52回実行委員会事務局 連絡者氏名 長尾美和 TEL 090-8547-4754
------------------------------------	--

2020年第52回全国高等学校選抜ホッケー大会

開催日時 12 月 24 日 (木) 会場 川崎重工ホッケースタジアム Aピッチ 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

八頭	2	$\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 1 & - 0 \\ 0 & - 0 \\ 1 & - 0 \end{pmatrix}$	0	西京
----	---	--	---	----

第2試合 11:10~

丹生	2	$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 2 & - 0 \\ 0 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	1	築館
----	---	--	---	----

第3試合 12:50~

天理	4	$\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 0 & - 0 \\ 2 & - 0 \\ 2 & - 1 \end{pmatrix}$	1	飯能南
----	---	--	---	-----

第4試合 14:30~

今市	1	$\begin{pmatrix} 1 & - 0 \\ 0 & - 0 \\ 0 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	0	伊吹
----	---	--	---	----

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{八頭} \ 2 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix} \ 0 \ \text{西京}$$

得点	<八頭> 24分 #8田淵、48分 #10團野		
	<西京>		
戦評	<p>山口県立西京高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。序盤から西京高校がドリブルを駆使し、ベースを掴むも決定的なチャンスを作ることが出来ない。対する鳥取県立八頭高等学校も、パスを繋ぎ前線へボールを送るもチャンスを作れない。両者無得点のまま第1Qが終了。</p> <p>第2Q、一進一退が続く中、24分八頭高校#8田淵がこぼれ球を押し込み待望の先制点を挙げる。勢いに乗る八頭高校は、#10團野を中心に猛攻を仕掛け、PCを連続で取得するも追加点を得ることが出来ない。1-0のまま、前半戦終了。</p> <p>第3Q、1点が欲しい西京高校は、#9今井を中心にドリブルで相手陣地に攻め込むも、八頭の堅いディフェンスにより、思うように攻撃が出来ない。37分八頭高校がPCを取得するも、得点には至らない。両者一歩も譲らないまま、第3Qが終了。</p> <p>第4Q、48分八頭高校#10團野がリバースヒットを決め、2-0とする。八頭高校は、53分、55分にPCを取得するも、得点には至らない。対する西京高校は#2藤川から前線へボールを繋ぐも、攻め切ることが出来ないまま試合が終了。2-0で鳥取県立八頭高等学校が勝利し、準々決勝へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	高橋英行
ジャッジ	大田・小林・要石		松田啓太

第2試合

$$\text{丹生} \ 2 \begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix} \ 1 \ \text{築館}$$

得点	<丹生> 19分・30分 #8宮川莉		
	<築館> 9分 #9瀬川		
戦評	<p>宮城県築館高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。福井県立丹生高等学校は、前線から激しいプレッシャーを掛けチャンスを作るが決めきれない。築館高校は9分PCを取得し、#9瀬川がリバウンドのこぼれ球を押し込み先制点を挙げる。追いつきたい丹生高校は14分PCを取得するも決めきることが出来ず第1Q終了。</p> <p>第2Q、序盤から丹生高校が猛攻を繰り広げ、サークル内での混戦の中、19分#8宮川莉がブッシュシュートを決め、1-1の同点とする。築館高校は#11石川を中心にサークルへ侵入するも丹生高校の堅い守備に阻まれる。丹生高校は、30分にPCを取得し、#8宮川莉がタッチシュートを決め追加点を挙げる。2-0で丹生高校がリードし、前半終了。</p> <p>第3Q、立ち上がりから勢いのある攻撃を仕掛ける丹生高校は、34分、39分にPCを取得するも、築館高校のディフェンスにより、チャンスをもたにすることが出来ない。築館高校は、終了間際にカウンターから#9瀬川がドリブルで相手を抜き去りシュートを狙うが、得点には至らない。</p> <p>第4Q、追いつきたい築館高校は、#9瀬川、#11石川を中心に攻撃を組み立てるも、攻め切ることが出来ない。60分、丹生高校がPCを取得。#9川口がシュートを放つも、築館高校GK#1狩野の好セーブにより得点には至らないまま試合は終了。2-1で福井県立丹生高等学校が勝利し、準々決勝へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	富山 喜正	アンパイア	鷲尾 尚子
ジャッジ	古川・石井・石森		柳田 敏行

一般社団法人ホッケージャパンリーグ

第3試合

$$\text{天理 } 4 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix} 1 \text{ 飯能南}$$

得点	<天理>39分・56分 #9田中、43分 #13泉谷、49分 #12坂間		
	<飯能南>51分 #2丸山		
戦評	<p>埼玉県立飯能南高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。4分天理高等学校がPCを取得するも、飯能南高校GK#1坂本の好セーブにより得点を許さない。10分天理の華麗なパス回しから#8駒形にパスが繋がリヒットシュートを放つもGKに阻まれる。両者無得点のまま第1Q終了。</p> <p>第2Q、天理高校は前線での激しいプレスからチャンスを作るが、飯能南高校#6糟谷を中心に堅い守備で得点には繋がらない。21分天理高校#9田中の強烈なシュートは、枠を外れる。飯能南高校はカウンターから攻撃を仕掛けるも、天理高校のディフェンスによりサークルに入ることが出来ない。両者一步も譲らず、0-0で前半終了。</p> <p>第3Q、天理高校が中央突破からチャンスを作るも、得点には至らない。点が動いたのは、後半39分、右サイドでボールを受けた#9田中が落ち着いてシュートを決め、1-0とする。勢いに乗る天理高校は43分#13泉谷がリバウンドを決め2-0とリードする。飯能南高校も#5古關を中心に反撃に出るも、決定的なチャンスを作ることが出来ず、第3Q終了。</p> <p>第4Q、49分#14大畑のパスを#12坂間が押し込み3-0と飯能南高校を引き離す。1点が欲しい飯能南高校は、51分PCを取得し#2丸山がドランクシュートを決め、3-1とする。56分天理高校がPCを取得し、#9田中が華麗なドランクシュートを決め4-1で試合が終了。天理高等学校が勝利し準々決勝へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	中野典子 大田・要石・浮中	アンパイア	藤原 信幸 小林 哲也

第4試合

$$\text{今市 } 1 \begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 伊吹}$$

得点	<今市>4分 #4小林		
	<伊吹>		
戦評	<p>滋賀県立伊吹高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。4分栃木県立今市高等学校がチャンスを活かし、シュートしたボールがGK裏にいたディフェンスに当たり、PSを取得。#4小林が落ち着いて決め1-0とする。伊吹高校はキレのあるドリブルから、攻撃を仕掛けるも得点には繋がらない。15分伊吹高校がPCを取得するも決めきることが出来ず、第1Q終了。</p> <p>第2Q開始早々、今市高校#15角田のタッチシュートを伊吹高校GK#15谷口がファインセーブで追加点を許さない。伊吹高校のペースで試合が進むが、両者譲らぬまま今市高校が1-0でリードし前半が終了。</p> <p>第3Q、今市高校が35分、37分と立て続けにPCを取得するが、伊吹高校の好セーブで追加点を挙げられない。追いつきたい伊吹高校は、40分#5渡辺のドリブル突破からPCを取得するが、枠を捉えられない。42分今市高校#7齋藤司がリバースシュートを狙うも決めることが出来ず、第3Q終了。</p> <p>第4Q、48分今市高校がPCを取得するが得点には至らない。伊吹高校は華麗なパスワークからチャンスを作るも今市高校の堅い守備に阻止される。最後まで諦めない伊吹高校は、59分シュートを放つも今市高校GK#1木村にセーブされる。接戦を制した栃木県立今市高等学校が勝利し、準々決勝に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	富山 喜正 辻・古川・石井	アンパイア	西山 宏明 大和田 康一

一般社団法人ホッケージャパンリーグ

開催日時 12 月 24 日 (木) 会場 川崎重工ホッケースタジアム Bピッチ 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

石動	1	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	伊吹
----	---	--	---	----

第2試合 11:10~

各務野	2	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	立命館
-----	---	--	---	-----

第3試合 12:50~

八頭	3	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & \end{pmatrix}$	0	沼宮内
----	---	--	---	-----

第4試合 14:30~

丹生	1	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$	3	横田
----	---	--	---	----

【各試合の結果・詳細】

第1試合

石動 1
$$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$$
 0 伊吹

得点	<石動>48分#15早助 <伊吹>		
戦評	富山県立石動高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。石動高校の連携のとれたパス回しと、滋賀県立伊吹高等学校の攻撃力のある個人技により試合は拮抗する。両者共に決定的なチャンスを作ることが出来ないまま第1Q終了。 第2Q、伊吹高校が立て続けに猛攻を仕掛けるも石動高校の堅い守備に阻まれ得点に至らない。対する石動高校は積極的にサークル内にボールを送るもパスが繋がらずチャンスを作ることが出来ない。得点が動かないまま前半が終了。 第3Q、先にチャンスを作った石動高校は36分#14丸山がサークル内の味方にパスを繋ぐも得点には至らない。対する伊吹高校は40分#3堀川が単独ドリブルでシュートを放つも枠を捉えることが出来ないまま、0-0で第3Qが終了。 第4Q、両者譲らぬ攻防が続く中、48分石動高校は#14丸山のセンタリングを#15早助が確実に合わせ待望の先制点を挙げる。1点を返したい伊吹高校は54分#16國友のスピードを生かしたドリブルでPCを取得するも枠を捉えることが出来ない。56分伊吹高校がPCを取得するも得点に至らない。伊吹高校の猛攻は続くが、決定的なチャンスをものにすることが出来ず1-0で富山県立石動高等学校が勝利し、準々決勝に駒を進めた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	鹿野 育郎 梶田・堀越	アンパイア	福山 秀人 塩井 拓真

一般社団法人ホッケージャパンリーグ

第2試合

各務野 2 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 0 立命館

得点	<各務野> 24分・58分 #9佐々木		
	<立命館>		
戦評	<p>岐阜県立岐阜各務野高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々、岐阜各務野高校は勢いのある攻撃で#9佐々木がヒットシュートを放つも、枠を捉えることが出来ない。立命館高等学校も堅い守備で、サークルインを許さず両者譲らぬ攻防が続く。11分、岐阜各務野高校が立て続けにPCを取得するも、立命館高校の好セーブにより得点に至らない。得点が動かぬまま0-0で第1Q終了。</p> <p>第2Q、19分立命館高校が立て続けにPCを取得するも、岐阜各務野高校の好セーブに阻まれる。勢いに乗った立命館高校#3佐藤がリバースシュートを放つも岐阜各務野高校GK#1佐藤の好セーブにより得点に至らない。24分岐阜各務野高校はロングボールを受けた#8松波がドリブルで切り込み、ゴール前の#9佐々木に確実に合わせ先制点を挙げる。29分1点を返したい立命館高校はPCを取得するも、チャンスをものに出来ず1-0で岐阜各務野高校がリードしたまま前半が終了。</p> <p>第3Q、徐々に立命館高校もペースを掴み始めるも岐阜各務野高校の堅い守備に阻まれる。両者チャンスをものに出来ないまま第3Q終了。</p> <p>第4Q、立命館高校のペースで試合が進む。58分岐阜各務野高校がプレスカットから#9佐々木が追加点を挙げる。このまま2-0で岐阜県立岐阜各務野高等学校が勝利し、準々決勝に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	齋藤 恵子	アンパイア	原田 竜平
ジャッジ	花部・大村		山田 恵美

第3試合

八頭 3 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 1 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 0 沼宮内

得点	<八頭> 18分・51分 #7武田、39分 #2井上		
	<沼宮内>		
戦評	<p>岩手県立沼宮内高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。2分鳥取県立八頭高等学校#11林がリバースヒットを放つも枠を捉えることが出来ない。沼宮内高校も#7今松がドリブル突破するも、八頭高校の堅い守備により攻め切ることが出来ない。第1Q終了間際、八頭高校が連続してPCを取得し、#4山中がシュートを放つも沼宮内高校GK#1下平にセーブされ0-0のまま第1Q終了。</p> <p>第2Q、激しい攻防が広げられる中、18分八頭高校#3山根の打ち込みを#7武田が合わせ、待望の先制点を挙げる。八頭高校は、プレスカットからPCを取得するも、沼宮内高校の堅い守備で追加点を挙げる事が出来ない。1点が欲しい沼宮内高校は、果敢にサークルへ侵入し絶好のチャンスを迎えるも、得点を返すことが出来ないまま、八頭高校のリードで前半が終了。</p> <p>第3Q、34分沼宮内高校はPCを取得し、#2佐藤瑠がドラックシュートを放つも決めることが出来ない。39分八頭高校がPCを取得すると、#2井上がドラックシュートをゴール左下に決める。沼宮内高校は、堅い守備から反撃を狙うもチャンスを作ることが出来ない。</p> <p>第4Q、48分沼宮内高校がPCを取得し、#3佐藤宇がスweepでゴールを狙うも枠を捉えられない。51分八頭高校はリバウンドを#7武田が押し込み3-0と点差を広げる。粘りを見せる沼宮内高校は、積極的に攻撃を仕掛けるも、決定的なチャンスを掴めないまま、3-0で鳥取県立八頭高等学校が勝利し準々決勝に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	児玉 茂樹
ジャッジ	小林・堀越		黒川 大地

第4試合

丹生 1 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 1 & -2 \end{pmatrix}$ 3 横田

得点	<丹生>56分#5駒野		
	<横田>38分#15佐伯、52分#9若槻、59分#14木村		
戦評	<p>島根県立横田高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。横田高校の巧みなパスワークで優勢に試合を進めるが得点には結びつけることが出来ない。福井県立丹生高等学校#2佐々木のロングボールから攻撃を仕掛けるもチャンスには繋がらない。一進一退の攻防が繰り返されたまま第1Q終了。</p> <p>第2Q、18分丹生高校がPCを取得、#8浅川のドラックシュートを#9月田に合わせるが惜しくも枠を捉えることが出来ない。その後、横田高校が連続してPCを取得し、#6小林がドラックシュートを狙うも丹生高校GK#1石田の好セーブで得点を許さない。第2Q終了間際、丹生高校がPCを取得し#2佐々木がドラックシュートを放つも横田高校の堅い守備に阻まれ0-0で前半戦が終了。</p> <p>第3Q、38分横田高校#12渡部魁のドリブルからPCを取得すると、#15佐伯が相手DFを冷静に交わし、待望の先制点を挙げ、1-0で第3Q終了。</p> <p>第4Q、両者激しい攻防が繰り返され、52分横田高校がPCを取得し#10松崎のプッシュを#9若槻が合わせ2-0とする。丹生高校が56分PCを取得し#6奥本がドラックシュートを放ちリバウンドを#5駒野がプッシュで押し込み1-2と点差を縮める。59分横田高校#14木村がシュートを決める。島根県立横田高等学校が3-1で勝利し、準々決勝へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	齋藤 恵子 花部・大村	アンパイア	野澤 達 加藤 拓馬

開催日時 12 月 24 日 (木) 会場 川崎重工ホッケースタジアム Cピッチ 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

巻	1	$\begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -0 \\ 1 & -1 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$	5	今市
---	---	--	---	----

第2試合 11:10~

伊万里	1	$\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 1 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	2	不来方
-----	---	--	---	-----

第3試合 12:50~

北海学園	1	$\begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	3	須知
------	---	--	---	----

第4試合 14:30~

高松東	5	$\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 3 & -0 \end{pmatrix}$	1	川薩清修館
-----	---	--	---	-------

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{巻 1} \begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -0 \\ 1 & -1 \\ 0 & -2 \end{pmatrix} \text{ 5 今市}$$

得点	<巻>38分#16和田		
	<今市>12分・50分#7磯、14分#6鈴木、41分・56分#4菊地		
戦評	<p>新潟県立巻高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々、栃木県立今市高等学校が、7分、8分と立て続けにPCを取得するも、巻高校GK#1長野の好セーブにより得点には至らない。12分今市高校#4菊地からのパスを#7磯がタッチシュートを決め、先制点を挙げる。勢いに乗った今市高校は14分#6鈴木がリバースシュートを決め2-0とする。得点が欲しい巻高校は、PCを取得するも得点には至らず、そのまま第1Qが終了。</p> <p>第2Q、今市高校のペースで試合が進む中、巻高校は#10松田昌を中心に積極的に前線へボールを運ぶもチャンスを作ることが出来ない。第2Q終了間際今市高校がPCを取得するも得点には至らず、2-0で前半が終了。</p> <p>第3Q、開始早々巻高校が立て続けにPCを取得するも今市高校GK#1齋藤の好セーブにより得点には至らない。38分巻高校#16和田のヒットシュートが決まり、望みの一点を挙げる。41分今市高校#4菊地が落ち着いて決め、3-1で第3Qが終了。</p> <p>第4Q、50分今市高校#7磯がゴール前のこぼれ球を押し込み4-1とし、56分今市高校#4菊地のヒットシュートが決まり5-1と相手を引き離す。追加点が欲しい、巻高校は攻撃を仕掛けるも、今市高校の守備を崩すことが出来ないまま試合が終了。5-1で栃木県立今市高等学校が勝利し、準々決勝に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	高島 匡代 浅野・高橋	アンパイア	橋本 千恵 佐竹 由加里

第2試合

$$\text{伊万里 1} \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 1 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix} \text{ 2 不来方}$$

得点	<伊万里> 42分#6岩吉		
	<不来方>5分・34分#8澤口		
戦評	<p>佐賀県立伊万里商業・伊万里実業高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。5分岩手県立不来方高等学校#4三上からのパスを#8澤口がリバースヒットで決め先制点を挙げる。伊万里高校は#6岩吉、#13小林を中心に相手陣地に攻め込むも、チャンスを作ることが出来ない。1-0のまま第1Qが終了。</p> <p>第2Q、伊万里高校#5古川が中央からドリブル突破でサークルへ侵入し、リバースシュートを放つも得点には至らない。不来方高校も積極的に前線へボールを繋ぐが、決定的なチャンスを作ることが出来ないまま前半が終了。</p> <p>第3Q、34分不来方高校#8澤口がドリブルでサークルに侵入しヒットシュートを決め、2-0とリードを広げる。不来方高校がPCを取得し、#4三上がドッキングシュートを放つも、伊万里高校GK#1山下の好セーブにより得点には至らない。42分伊万里高校#6岩吉のドリブル突破からブッシュシュートを決め、望みの1点を挙げ2-1で第3Qが終了。</p> <p>第4Q、開始早々伊万里高校がPCを取得し、#5古川がヒットシュートを放つも、不来方高校GK#1佐々木の好セーブに阻まれる。不来方高校は50分、53分と立て続けにPCを取得するも、追加点とはならず試合が終了。2-1で岩手県立不来方高等学校が勝利し、準々決勝に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長屋 恭一 辻・大河内	アンパイア	相馬 知恵子 坪坂 知佳

第3試合

北海学園 1 $\begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 3 須知

得点	<北海学園>58分#9渡辺		
	<須知>3分#10徳岡、10分#5田淵、32分#6藤田		
戦評	<p>北海学園札幌高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。3分京都府立須知高等学校がPCを獲得し、#10徳岡の力強いヒットシュートで先制点を挙げる。勢いに乗った須知高校は、10分#5田淵がドリブル突破からリバースヒットシュートを決め、2-0とする。追いつきたい北海学園札幌高校は、#10佐々木がドリブルで攻め上がるが、なかなかチャンスを作ることが出来ない。</p> <p>第2Q、須知高校は巧みなパスワークで攻め込む。対する北海学園札幌高校は粘り強い守備でピンチを凌ぎ、ロングボールで反撃を狙うが攻撃に繋げることが出来ない。その後も一進一退の攻防が続き、2-0のまま前半が終了。</p> <p>第3Q、32分須知高校#6藤田がリバウンドを落ち着いて決め、3-0とリードを広げる。その後も須知高校は35、36分と立て続けにPCを取りチャンスを作るも、北海学園札幌高校GK#1高橋が好セーブを見せ、得点を許さない。</p> <p>第4Q、立ち上がりから須知高校がPCを取得するが、北海学園札幌高校の懸命な守備に阻まれる。得点が欲しい北海学園札幌高校は、49分流れのあるパス回しから決定的なチャンスを作り、58分にPCを取得。これを北海学園札幌高校#3小山内のスィープに#9渡辺がタッチで合わせ1点を返すが、そのまま試合は終了。3-1で京都府立須知高等学校が勝利し、準々決勝に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	高島 匡代 浅野・高橋	アンパイア	ケビンデムスター 澤田 未梨美

第4試合

高松東 5 $\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 3 & -0 \end{pmatrix}$ 1 川薩清修館

得点	<高松東>1分#7長尾、4分・60分#10有岡、48分・52分#6藤沢		
	<川薩清修館>28分#4竹下		
戦評	<p>香川県立高松東高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々、高松東高校が猛攻を仕掛ける。1分#7長尾がブッシュシュートを決め先制点を挙げると、続く4分#10有岡が追加点を決める。鹿児島県立川薩清修館高等学校は#4竹下を中心にチャンスを作るも、得点には至らず、2-0で第1Q終了。</p> <p>第2Q、追いつきたい川薩清修館高校は、徐々に流れを掴み攻撃を仕掛けるも、高松東高校の堅い守備を崩しきれず、一進一退の攻防が続く。28分川薩清修館高校は、#4竹下にパスが繋がりと、それをヒットシュートで決め、2-1で前半が終了。</p> <p>第3Q、川薩清修館高校はロングボールを中心に、高松東高校は細かいパスで攻撃を組み立てるが、お互いに決定的なチャンスを作れないまま第3Qが終了。</p> <p>第4Q、48分高松東高校#6藤沢が早いリスタートからサークルに侵入し、ヒットシュートで追加点を挙げると、52分#6藤沢がリバースシュートを決め4-1とリードを広げる。高松東高校は60分PCを取得し、#10有岡がドラックシュートを決め5-1で試合が終了。香川県立高松東高等学校が勝利し、準々決勝に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長屋 恭一 梶田・大河内	アンパイア	佐竹 由加里 富田 紗矢

開催日時 12 月 24 日 (木) 会場 岐阜各務野高校グラウンド 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

石動	7	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 3 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	玖珠美山
----	---	--	---	------

第2試合 11:10~

各務野	3	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	立命館
-----	---	--	---	-----

第3試合 12:50~

岐阜総合学園	4	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	須知
--------	---	--	---	----

第4試合 14:30~

可児工業	1	$\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \\ 0 & - & 2 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	5	置賜農業
------	---	--	---	------

【各試合の結果・詳細】

第1試合

石動	7	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 3 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	玖珠美山
----	---	--	---	------

得点	<石動>3分#18石川、5分#7西田、19分#9齋藤、39分#13作田、42分#11荒井、43分#8関野、54分#16藤岡 <玖珠美山>24分#10山崎		
戦評	曇り空の下、玖珠美山高校のセンターパスにより第1試合が開始された。第1Q開始2分に石動高校がPCを獲得し、#18石川がシュートを打ち先制点を決める。立て続け5分に石動がPCを獲得し、GKのこぼしたボールを#7西田が押し込んで2点目が入り第1Qが終わる。第2Q開始早々石動がドリブルで侵入しPCを獲得したが、玖珠美山のGKによるファインセーブで得点ならず。その直後、3分に石動#9齋藤がドリブル突破しプッシュシュートで3点目を決める。その後、玖珠美山が反撃しPCを獲得し、8分#10山崎がプッシュシュートを決め前半戦が終わる。第3Q8分、石動#13作田がセンターリングをタッチで決め4点目を挙げる。その後石動が攻め続け、11分#11荒井、12分に#8関野が得点を決め1-6と突き放し第3Qが終わる。第4Q玖珠美山が堅い守備を見せるも、9分石動の#16藤岡がこぼれ球を押し込んで7点目を決める。玖珠美山がPCでチャンスを作るが、ゴールが決まらず1-7で石動が準々決勝に勝ち進む。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	森 義彦 遠藤・森永	アンパイア	山崎 直樹 森田 慎

第2試合

各務野 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 立命館

得点	〈各務野〉12分#7兼子、19分・30分#3山田		
	〈立命館〉49分#10名井		
戦評	<p>岐阜各務野高校のセンターパスにより第2試合が開始された。第1Q両者激しい攻防が続く中、11分各務野がスクープパスからのこぼれ球を#7兼子が押し込み先制点を決める。終了間際#6瀬島にグリーンカードを科せられ第1Qが終わる。第2Q開始3分各務野がドリブルからPCを獲得し、#3山田のフリックで2点目を決める。その後も各務野がPCを獲得するが、立命館高校の守備によりゴールにならない。しかし、14分に各務野がPCを獲得し#3山田が左下にフリックを打ち3点目を決め前半戦を終える。第3Q立命館も反撃しPCを取るが、チャンスを活かせず得点にならず。両チーム中盤での激しいプレーを繰り返すが得点まで行けないまま第3Qが終わる。第4Q開始3分立命館がドリブルで攻め込み#10名井がタッチで決め点差を2点に縮め反撃する。残り7分に立命館がパワープレーに出るもチャンスが作れず。終了間際、14分#兼子にイエローカードが科せられ、立命館が攻め続けるも、惜しくも決める事ができず3-1で各務野が準々決勝へと勝ち進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	氏家 健太
ジャッジ	鳶木・下島		久米 世大

第3試合

岐阜総合学園 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 須知

得点	〈岐阜総合〉15分#16小栗、37分#2伊藤、40分#7山村、48分#5日置		
	〈須知〉		
戦評	<p>須知高校のセンターパスにより第3試合が開始された。第1Q岐阜総合ペースの試合が進み、14分に#16小栗のプッシュシュートが先制点で決まり第1Qが終わる。第2Q須知がパスを繋ぎシュートを打つもGKのファインセーブによりゴールが決まらない。終了間際14分岐阜総合がPCを獲得するが、守備に阻まれ両者無得点のまま第2Qが終わる。第3Q岐阜総合が左サイドから攻め、PCを獲得。パスで繋ぎ6分#2伊藤がフリックを打ち2点目を決める。その勢いそのまま、9分に岐阜総合の#7山村がこぼれ球を押し込み3点目が決める。12分に須知の#12西垣にグリーンカードが科せられ、両者激しい攻防のまま第3Qが終わる。第4Q2分岐阜総合#5日置がスクープパスを受け、スペースにドリブルしヒットで4点目を決める。須知も攻撃し反撃するがチャンスに繋がらず4-0で岐阜総合が準々決勝に勝ち進んだ。</p>		
テクニカルオフィサー	森 義彦	アンパイア	為国 壮
ジャッジ	遠藤・下島		森川 大

第4試合

可児工業 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \\ 0 & - & 2 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 5 置賜農業

得点	〈可児工業〉51分#6森		
	〈置賜農業〉3分#2小野、26分・39分・42分#8小林、29分#13中山		
戦評	<p>置賜農業高校のセンターパスに第4試合が開始された。第1Q開始3分置賜がPCを獲得し、#2小野がフリックを打ち先制点を決める。可児工業が反撃し得点チャンスを作るも、GKのファインセーブにより得点にならない。お互い一步も引かない試合展開のまま第1Qが終わる。第2Q10分に置賜が速いパスワークで攻撃し最後に#8小林がシュートを打ち2点目を決める。その後も、置賜がPCを獲得し14分#13中山のフリックが入り3-0で前半戦が終わる。第3Q均衡した試合が続く中、9分に置賜#8小林がGKの弾いたボールを押し込み4点目が入る。その後も、12分置賜の#8小林がリバースヒットを打ち5点目を決め第3Qが終わる。第4Q6分に可児工業#6森が左サイドからリバースシュート決めて反撃する。可児工業の攻撃回数が増えサークル内に攻め込むがチャンスを活かさず、5-1で置賜が準々決勝に勝ち進んだ。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	森田 慎
ジャッジ	鳶木・松原		岸 竜平